

スプーンで食べてるよ～

あともう少しですくえ
るよ～

あっ手にもご飯がつい
ちゃった！



スプーンを2本用意していますが（自分で食べる用と保育者が援助する用）最初の頃は、保育者が食べ物をすくうと「あーん」と口をあけて食べていた子どもたちも『（スプーンを）握ってみたいな』と興味をもち、保育者が食べやすい量をすくうと、スプーンを持って口まで運ぶようになりました。一口量がまだわからず、たくさん口に入れようとする子もいるので適量を保育者がすくったり、子どもたちがすくったものが多ければ少し減らしたりしながら調整をしています。「おいしいね」「いっぱい食べてね」の声かけに満面の笑みを見せてくれます。